

第9単元 大きい数のしくみ①

問題番号	配点	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	25 (各5)	① 78342241 ② 7903400 ③ 30780205 ④ 35790000 ⑤ 6058000	[知技]大きい数の書き表し方やしくみを理解している。	空位のある大きい数の記数法を理解しにくい場合には、位取り表などを用いて、それぞれの位に数字をあてはめていくようにするとよい。
②	20 (各10)	① 62 ② 38000	[知技]数の相対的な大きさを理解している。	1000円札で考えることも有効である。「100円玉なら…」と単位を変えて考えさせることにより、数の柔軟な見方につなげる。
③	20 (各5)	ア 43860 イ 44000 ウ 9800万 エ 1億	[知技]大きい数の順序、系列を理解している。	1目盛りの大きさに着目できるようにする。ア、イでは、一番小さな1目盛りが10になっていることに気づかせたい。
④	20 (各10)	① < ② =	[知技]整数の相等や大小の関係を等号、不等号を用いて表すことができる。	等号や不等号の用語を知らせる際、両辺が等しいことを表すのに等号が用いられることなど、記号の意味を理解できるようにする。
⑤	15 (各5)	① 570 ② 49000 ③ 60	[知技]10倍、100倍した数や10でわった数を求めることができる。	お金などの具体物を用いて、「30円の10倍は300円」などと考えたり、位が1つずれることを視覚的にとらえたりするとよい。

第9単元 大きい数のしくみ②

問題番号	解 答(許容)	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	①、② (順不同)	[思判表]大きい数を、多様な見方でとらえている。	位取り表などを利用しながら、1000を単位とすると、1万は10倍、10万は100倍になっていることなどを理解させることが大切である。
②	りか……8000 きよみ…2000 はなこ…32	[思判表]整数の構成に着目し、その数を多面的にとらえて表現している。	まず十進位取り記数法の原理の理解を確かめ、数の構成を手がかりに多面的な見方を例示して理解を図る。

▶思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	4問	3～2問	1～0問

▶主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、感想とさらに学習したいことの2つの観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、感想とさらに学習したいことのどちらかの観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、感想やさらに学習したいことが書かれていない。